

第21回 文化交流会

H30.2.27(火)

高知県民文化ホール(グリーンホール)

主催:高知県精神保健福祉協会

精神科デイケア室 作業療法士 西 洋平

2月27日に高知県民文化ホールのグリーンホールにて第21回文化交流会があり、当院デイケアも参加してきました。

今回からは創作部門以外にも、のど自慢部門が追加されて、当院デイケアから2名出場されていました。参加された方の感想は「眺めの良いところで気持ちよく歌えたので良かった。」

「緊張はしたけど、一番良い鐘の音が鳴ったので良かった。また出てみたい。」と言われ、2人とも審査員から最高の鐘を鳴らされたため喜んでいました。

来年も、のど自慢部門があるなら出たいと、今回出していない人も言われたので、来年も是非参加してみたいと思いました。



第22回 ほっとソフトバレーボール大会

H30.3.8(木)

高知県立障害者スポーツセンター(春野)

主催:精神保健ボランティア ほっとはあと

精神科デイケア 看護師 山崎 礼華

3月8日(木)に春野にある障害者スポーツセンターでほっとソフトバレーボール大会に参加してきました。参加施設は南国病院を含め7施設でした。

あいにくの雨でしたが、道中の車内ではソフトバレーの作戦を練り、これから始まる試合に少し緊張もしていましたが車内は賑やかでした。

初戦を見事突破、2試合目もどんどん勝ち進み準決勝戦になりました。準決勝戦では疲れも見られ始め、メンバーの声掛けなどが少なくなりちょっとしたミスが目立ち、延長戦になってしまいましたが、延長戦に入ると気合いが戻り選手同士の声掛けなども増えてきました。応援するメンバーにも力が入り、延長戦を見事勝利し、決勝戦へ進むことができました。

決勝戦では去年破れたみどり作業所とでした。去年負けているので最初は少し萎縮して動きもぎこちなかったりしましたが、徐々にペースを取り戻しメンバーのサーブやアタックが決

優勝

まっています。相手チームにボールを返すのもみんなで協力し3回で返すことが増え、自然と声掛けも多くなり、みどり作業所に勝つことができ見事優勝することができました。去年対戦し負けたチームだけあってメンバーはとても喜びました。

帰りの車内では、まさか自分たちが勝つなんて信じられない！！と興奮していました。去年まではボール

も1回で返球したり協力体制が少なかったのですが、今年はみんなで声掛けをし合い、選手同士の声を出し合いながら優勝に向けて協力することができていました。試合のコートは距離も近く白熱した試合に自然と応援する声も大きくなり、一丸となって挑んだ大会でした。

また、他施設のメンバーとの交流や話す機会もあり、とても良い経験のできる大会でした。また来年のほっとはあとが楽しみです。



メンバーK・Yさんより
勝てると思わなかった。チームで勝てて良かった。来会も連結して勝ちたい。嬉しい喜びでいっぱいです。

新たなスタート

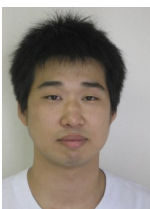
外来看護師長兼地域連携・医療相談室長 井河 里佳

この度、外来看護師長兼地域連携・医療相談室長を拝命いたしました。私は病棟勤務が長く、外来での仕事はほとんど初めてです。また、地域連携もほぼ未知の世界ですが皆様のお力を借りて少しずつ前進していきたいと思っています。地域連携・医療相談室は、入院相談や退院調整、療養に関する各種のお手伝いをさせていただく部署です。これまではソーシャルワーカーが踏ん張ってくれていましたが、看護師が加わることでもう一步踏み込んだ対応も可能となります。患者さんやご家族を取り巻く環境を改善すると共に、各部門の皆さんがストレス無く連携していけるよう努力していきます。どうぞ、ご協力をお願いいたします。



2病棟看護主任心得 西川 慎一

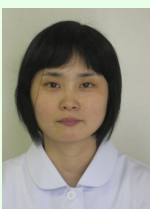
4月より看護主任心得となりました。主任心得としての役割、やりがい、辛さなどもまだわかっていない状態ですがプレッシャーだけは密かにしっかりと感じてきました。



9年間神経難病で勤めた経験を活かし、少しでも力になれるよう焦らず自分の役割を学んでいきたいと思っています。これまで師長さん、主任さんがまとめてきた病棟運営を踏襲しつつ、患者さんが安心して希望を伝える事ができ、スタッフ間においても話し相談し合える環境作りに向けて努力していきます。

3病棟看護主任心得 山本 裕佳

4月から3病棟の主任心得職を拝命いたしました山本です。人前で話すことが苦手な性格のためお話を頂いた時、自分には向いてないのではないだろうか？と戸惑ったのが本音です。不安も大きいですが自分のペースで少しずつ慣れていき成長していければと考えています。主任心得としてやるべき役割が増えると思いますが今まで通り、一スタッフとして同僚スタッフと協力しあい患者様が安心して療養生活を受けられる環境・ケアの提供を最優先に考え微弱ながらも師長・主任のサポートができ良い職場環境が作っていければと思います。まだまだ若輩者ですがご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



2病棟看護師長 山脇 直美

看護師長の打診を受けた時は、正直不安だけが頭をよぎりました。ただ今は、5年間の主任経験を土台とし、自身の成長につなげていければと考えています。管理者としてのあり方を学ぶと共に、多様な人とつながり、自らの仕事を通して役割を担えるよう頑張っ参ります。主任、スタッフ達と力を合わせ、患者さん中心の看護が提供できる病棟を目指します。皆さまどうぞ宜しくお願いします。



2病棟看護主任心得 石川 裕子

私は南国病院に勤めて、今年で7年目になります。2病棟での勤務も長くなりそろそろ異動か？と思っていた時、看護部長さんより主任心得として働いてみないかと話がありました。当初、難病病棟での勤務は長くなりましたが、指導する事、人より率先して行う事が苦手な私にとって主任としての役割が果たせるのか不安でした。しかし、最初から完璧にできる人はいない、少しずつ成長していけばいいと部長さんより温かい言葉を頂き4月より主任心得として頑張っていこうと決意しました。まだまだ主任としての自覚が乏しいですが、新師長、主任と共に協力し、2病棟で頑張っていきます。



通所リハビリテーション室助手リーダー 恒石 貴久枝

この度、通所リハビリテーション室助手リーダーになりました恒石と申します。昨年1年は心得として勤めさせてもらい、至らない所もありましたが、スタッフの皆さんに助けられながら勤めさせてもらいました。



通所リハビリは、他職種が集まった部署で情報交換や連携が非常に重要だと感じる場面が多くあります。同時に教わる事も多いので勉強にもなります。また、今年度は介護保険の改正で戸惑いもありますが、研修会にも参加させて頂くことで情報を得ることができました。今後も色々な事を勉強しながら、介護ケアに関わっていけたらと思いますので、ご指導の程よろしく願致します。